

千葉県

茨城県

東京都

佐倉城

本佐倉城

大多喜城



20 佐倉城

--- 100名城 ---

2023.09.13



鹿島台地の要害に土造で築かれた徳川譜代の城

別名： 鹿島城

鹿島山(標高30m)の西端部に築かれ、鹿島川と高崎川に囲まれ、北側には印旛沼に至る低湿地が広がっていたとされる。戦国時代、本佐倉城(東5Km先)主千葉親胤が築城を開始したが、相次ぐ暗殺によって頓挫、いつしか築城予定地には鹿島幹胤にちなんで「鹿島台」と呼ばれるようになったとされる。 --本佐倉城は続名城No.121--

1610年に、徳川家康の命を受けた土井利勝によって築城が再開され、佐倉城が完成した。



時々城跡内に学校施設等がありますが、こういうのをみると羨ましいと思います。放課後などにのどかな城跡を散歩するのを想像するだけで本当に羨ましい限りです。

この佐倉城址でも大手門跡横に中学校があり、秋の体育祭に向けての練習声援が飛び交っていました。



DigitalDaiku 2D城郭データ(画像)



本丸

広い本丸跡



121 本佐倉城

---続 100名城 ---
2023.09.13



別名

将門山城(まさかどやまじょう)

千葉県

FB - 190

下総守護千葉氏が
本拠とした巨城

本佐倉城は、千葉氏後期の本拠地となった城です。南方が谷になっている半島状の丘陵地に建ち、残る三方が湿地帯(香取の海「現印旛沼」)に囲まれた天然の要害です。土塁や空堀などの遺構がほぼ完全な状態で残っており、国の史跡に指定されています。



本佐倉城は先の佐倉城(名城No.20)とは京成本線の隣の駅(大佐倉駅)で5Km程しか離れていません。こっちは平坦な道で楽でしたがやはり暑かったあ〜！



V郭(東山馬場)の
千葉氏の家紋月星紋の盾



本佐倉城跡航空撮影 (南から)

城の北の現在水田になっている低地が香取の海であった。
京成線軌道周囲が当時の汀線で、そこから城の周囲はすべて湿地帯であり、天然の防御壁が備わっていた。



122 大多喜城

---続100名城---
2023.09.14

徳川四天王の一人、
本多忠勝が築く



別名：大滝城、小田喜城(おだきじょう)

1521年に真里谷信清が「小田喜城」として築いたのがはじまりとされます。近年の発掘によって現在の城の地下に大規模な城の遺構が遺されていることが明らかとされており、現在では信清の小田喜城を元にして後の大多喜城が築かれたものと考えられています。小田喜城時代の内紛により、徳川家康命で本田忠勝が大多喜城の初代大名(10万石)となる。



登城日の4日前、大雨により一時アクセス用の「いすみ鉄道」が不通となり心配しましたが、2日前に復旧しなんとか行くことができました。

大多喜駅の観光案内所でも観光用電動自転車が置いてあり早速利用しました。

紙本著色本多忠勝像
(良玄寺蔵)



JR大原駅(いすみ鉄道始発)のホーム内

